

いま大学で対応する SOGI (性指向・性自認) /LGBT+

なぜ大学はセクシュアル・マイノリティの
支援に取り組むのか？

2018年 10月 26日 (金) 13時30分～16時00分

筑波大学 東京キャンパス文京校舎 134 ※参加費無料

東京都文京区大塚3-29-1 (丸ノ内線「茗荷谷駅」出口1より徒歩5分程度)

第一部「各大学の取組の紹介」

河野禎之 氏 (筑波大学DACセンター助教)

関口八州男 氏 (早稲田大学学生部学生生活課長/GSセンター課長)

三浦 徹 氏 (お茶の水女子大学理事・副学長)

武田 丈 氏 (関西学院大学人権教育研究室室長/人間福祉学部社会起業学科教授)

田間泰子 氏 (大阪府立大学ダイバーシティ研究環境研究所 前所長/地域保健学域教授)

第二部「パネルディスカッション」

モデレーター：土井裕人 氏 (筑波大学人文社会系助教)

※16:00～17:00に大学関係者を対象とした情報交換会を予定しています

セクシュアル・マイノリティを巡る課題に対して、組織として取組を進めている大学の事例紹介を通じて、各大学の理念と具体的な支援方法について共有します。そして、なぜ大学がセクシュアル・マイノリティへの支援に取り組むのかについて話し合います。

申込：要事前申込み (下記のWebページにある申込みフォーム、QRコードにて)

締切：10月22日 (月) 先着150名

対象者：大学関係者 (学生、教職員)、一般の方 ※マスメディアで取材を希望される方は事前に必ずご連絡ください

本シンポジウムは筑波大学第9回全学FD研修会として開催します。

また、筑波キャンパス スチューデントプラザ2F 就職課会議室にて遠隔中継します (事前申込み必須)

問い合わせ先



筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

TEL: 029-853-8504 E-mail: diversity@un.tsukuba.ac.jp

URL: <http://diversity.tsukuba.ac.jp>

申し込み
フォームへ!





公開シンポジウム

ダイバーシティで 未来をえがく

参加費
無料

第1部 基調講演

- 筑波大学 山海嘉之 教授
- 平昌2018パラリンピック冬季競技大会
日本代表選手団 団長 大日方 邦子 氏



第2部 パネルディスカッション

- VISA・ワールドワイド・ジャパン 代表取締役社長 安瀨聖司 氏
- 筑波大学 真田 久 教授
- 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長 五十嵐 浩也 教授
- ファシリテーター: 筑波大学 山口 香 教授 (ソウルオリンピック 柔道銅メダリスト)

日時 **2018年8月29日(水)**
17:00~19:30

場所 **筑波大学東京キャンパス**
文京校舎1階134講義室
(地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅より徒歩5分)

当日は要約筆記を用意しています。その他の合理的配慮の必要の方は8月6日(月)までにお申し出ください。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や社会の多様化に伴い注目の高まる「ダイバーシティ&インクルージョン」の学問としての確立と社会への一層の浸透を目的に、これまで先進的な研究・取り組みを行ってきた筑波大学を中心とするアカデミックと様々な企業・業界で磨かれた実践知の双方の視点から「ダイバーシティ・インクルージョン」を捉えるエクステンション講座をこの秋より開講致します。

こうした取り組みを皆様に広く知っていただくため、パラリンピック・スポーツやビジネスの第一線において活躍される方々を招いたシンポジウムを開催いたします。



時間	形式	講師	テーマ
17:00	イントロダクション	五十嵐 浩也 教授	ダイバーシティ・インクルージョンの取り組みについて
17:10	基調講演①	山海嘉之 教授	ダイバーシティで未来をえがく
18:00	基調講演②	大日方 邦子 氏	パラリンピックを通じて見たダイバーシティ
18:30	パネルディスカッション	大日方 氏ほか	ダイバーシティで未来をえがく～東京2020とその先へ～

基調講演

「ダイバーシティで未来をえがく」



筑波大学 教授(システム情報系)
内閣府ImPACT プログラムマネージャー
CYBERDYNE株式会社 社長/CEO
山海嘉之 教授

筑波大学教授、内閣府ImPACT PM、CYBERDYNE社 CEO (筑波大学発ベンチャーとして起業し株式上場達成)。新領域【サイバニクス】を創生。脳・神経・身体系の機能改善・機能再生を促進する世界初のロボット治療機器「HAL®医療用」の開発で知られる。

「パラリンピックを通じて見たダイバーシティ」



平昌2018パラリンピック冬季競技大会
日本代表選手団 団長
大日方 邦子 氏

1972年東京都生まれ。3歳時に交通事故で右足を切断、左足にも後遺症が残る。高校生でチェアスキーを始め、98年の長野大会で日本人初の冬季金メダルに輝くなどパラリンピック5大会連続出場。平昌大会では日本選手団団長を務めた。電通PR勤務。

パネルディスカッション

VISA・ワールドワイド・ジャパン
代表取締役社長
安淵聖司 氏



筑波大学 教授(芸術系)
五十嵐 浩也 教授



筑波大学 教授(体育系)
真田 久 教授



筑波大学 教授(体育系)
山口 香 教授



(ファシリテーター)

会場へのアクセス



東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターについて

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)は、ダイバーシティの推進、障害のある学生に対する修学支援及び学生のキャリア形成支援の機能を有機的に連携させるための全学的な組織です。これらの連携により、学生の自立推進と意思決定能力を成熟させるとともに、障害者支援における合理的配慮の提供と全学構成員のダイバーシティの意識向上を進め、本学の社会的責任の達成を目指しています。





～ダイバーシティを学びたい次世代のための～

障害者スポーツボランティア・リーダー養成講座

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や社会の多様化に伴い注目の高まる「ダイバーシティ&インクルージョン」において、これまで先進的な研究・取り組みを行ってきた筑波大学を中心とするアカデミックと様々な企業・業界で磨かれた実践知の双方の視点から、「ダイバーシティ・インクルージョン」に関する基礎や障害者スポーツボランティアに必要な基本知識を、実技を交え講習致します。

本講座(全2日間)の受講を通じて日本スポーツボランティアネットワーク認定の「**スポーツボランティア・リーダー**」資格が取得できます。今後スポーツイベントでのボランティアを希望される学生の皆様の受講をお待ちしております。

開催日時 1日目: 2018年9月12日(水) 2日目: 11月18日(日) 全2日間・約14時間

開催場所 1日目: 筑波大学東京キャンパス文京校舎 2日目: LMJ東京研修センター (ともに東京都文京区)

プログラム内容(予定)

	時間	講師	テーマ
1日目 9月12日(水)	10:00~10:20	五十嵐浩也教授(筑波大学)	オープニングセッション
	10:20~10:50	真田久教授(筑波大学)	オリンピック・パラリンピックが変える社会
	11:00~11:30	河野禎之助教(筑波大学)	ダイバーシティを科学する①「そもそもダイバーシティって…?」
	11:30~12:00	竹田一則教授(筑波大学)	ダイバーシティを科学する②「そもそも障害って…?」
	(昼休み)		
	12:50~15:50	日本航空株式会社 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	障がい理解やホスピタリティなどボランティア実践に役立つノウハウを企業での取り組み紹介や実践を交えて学ぶ
	16:00~16:10	日本スポーツボランティアネットワーク	スポーツボランティアについて
16:10~16:30	末富真弓准教授(筑波大学)	クロージングセッション	

2日目は日本スポーツボランティアネットワークが実施する「スポーツボランティア・リーダー養成研修会」の受講を中心とするプログラムとなります。

2日目 11月18日(日)	10:00~12:10	日本スポーツボランティアネットワーク	スポーツボランティア・リーダー養成研修会①
	12:10~13:20	昼食休憩	パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM
	13:20~16:20	日本スポーツボランティアネットワーク	スポーツボランティア・リーダー養成研修会②
	16:30~17:00		クロージングセッション(修了式)

受講対象者: 18歳以上27歳未満で、スポーツ・ボランティアに興味のある若者・大学生

受講人数: 定員100名 先着順(最少催行人数:60名)

受講費用: 8,000円(税込) ※スポーツボランティアリーダーのライセンス取得代(4,500円)を含む

申込み方法・期限: 筑波大学HPより:2018年9月5日(水)まで

主催:国立大学法人 筑波大学

事務局:筑波大学エクステンションプログラム

～ダイバーシティを学びたい次世代のための～

障害者スポーツボランティア・リーダー養成講座

お申し込みHP・お問い合わせはメールにて

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

ext_pro16@un.tsukuba.ac.jp



エクステンションプログラムについて

このエクステンションプログラムは、社会貢献の一つの形として、本学の高度で先駆的な研究・教育分野から得られた成果をいち早く社会に還元し、皆様に見える形でお届けすることを目的としています。他に例を見ない学際的な融合により、火花を散らしながら生み出された最先端の学問を、それを基盤とした社会還元を目的としたプログラムを通じて、直接感じていただければ幸いです。



筑波大学長 永田 恭介

アクセス（開講日により実施場所が異なりますのでご注意ください）

1日目: 2018年9月12日(水)
筑波大学 東京キャンパス
(東京都文京区大塚3-29-1)



2日目: 2018年11月18日(日)
LMJ東京研修センター 5F
(東京都文京区本郷1-11-14 小倉ビル)



お申込み方法



WEBサイトより

WEBサイトにアクセスし、お申込みフォームよりお申込み下さい。



講座を選択

ご希望の講座ページよりお申込み下さい。



お支払いは 簡単カード決済

お手持ちのカードで簡単にお支払いできます。

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

※お申込みは先着順となります。受講可否については後日事務局より連絡いたします。

お申込み
お問い合わせ

筑波大学エクステンションプログラム

筑波大学エクステンションプログラム事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 高細精医療イノベーション棟1F

Tel: 029-859-1648 (受付時間/月~金 9:30~17:00)

お申込みはHPにて

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

お問い合わせはこちらから

ext_pro16@un.tsukuba.ac.jp



Beyond the border:

私たちはダイバーシティと男女共同参画を
どのように実現するのか？

how we realize the
diversity and gender
equality in the future?

日時 平成30年9月22日(土) 10:00~12:00

場所 つくば国際会議場 202A

基調講演 高橋 裕子氏 (津田塾大学長)

「大学におけるトップマネジメントと
ダイバーシティ推進(仮題)」

パネルディスカッション

「意思決定プロセスへの女性の参画」

パネリスト: 柳沢 裕美氏 (筑波大学)

Jennifer Preece氏 (University of Maryland)

奈良崎 愛子氏 (産業技術総合研究所)

倉島 菜つ美氏 (日本アイ・ビー・エム株式会社)

TIDE Women's Award in 筑波大学 表彰式 ほか

オーガナイザー: 五十嵐浩也氏 (筑波大学) / 庄司一子氏 (筑波大学)

使用言語 日本語

申込み

参加費無料。下記URLから事前登録をお願いします。当日参加も可能です。

<https://peatix.com/event/386078>

※本シンポジウムはTsukuba Global Science Week (TGSW) 2018と
同時開催します。上記URLはTGSW2018の申込みフォームとなり、
本シンポジウムへの参加登録を兼ねますのでご理解ください。



託児(無料)

事前のお申込みが必要です。

以下の「お問い合わせ」にあるE-mailアドレスにご連絡下さい。

締切: 9月10日(月)

お問い合わせ

国立大学法人 筑波大学

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(ダイバーシティ担当)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL: 029-853-8504 FAX: 029-853-8505

URL: <http://diversity.tsukuba.ac.jp/>

E-mail: diversity@un.tsukuba.ac.jp

主催 国立大学法人 筑波大学、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、日本アイ・ビー・エム株式会社

共催 つくば女性研究者支援協議会



つくば駅A3出口を出て、バスロータリーに沿って右に進み、
階段を上り、遊歩道を直進およそ800m。